



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.1423 2024 年 10 月 21 日

### 10 月は「受信環境クリーン月間」です

受信環境クリーン中央協議会では、例年 10 月 1 日から 10 月 31 日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、放送電波受信障害防止に向けた集中的活動を実施しています。会員の皆様も電波障害の防止になお一層のご協力をお願いします（詳細は ARIB ニュース No.1416 2024 年 9 月 2 日を参照ください）。

ARIB の動き

## ITU-R WP 5D 第 47 回会合の概要報告

### 1 会合の概要

WP 5D (Working Party 5D : 5D 作業部会) は、ITU-R の SG 5 (Study Group 5 : 第 5 研究委員会) の下に設置され、IMT (International Mobile Telecommunications : 移動通信システム) の国際標準に関する検討を行う専門家会合であり、通常年 3 回程度開催されています。今会合では、NTT ドコモの新博行氏が暫定議長を務められました。

日 程 : 2024 年 10 月 3 日 (木) ~10 月 11 日 (金)

場 所 : スイス・ジュネーブ ITU 本部 (Web 会議併用)

参加者 : 66 か国および各団体/機関から 609 名

日本代表団として総務省新世代移動通信システム推進室係長の重成知弥氏を団長に 24 名 (当会から西岡理事、佐藤担当部長、金本主任研究員の 3 名が参加)

### 2 主要結果

#### (1) General Aspects 関連

- ① IMT 技術を利用した IMT 地上局と航空機上の空対地 IMT ユニット間の通信に関する新報告案について、タイトル、スコープを中心に議論が行われ合意されました。次回会合では、具体的な内容について議論が行われる予定です。本報告は、2026 年 2 月会合で完成予定としています。
- ② 回章「IMT-2030 無線インタフェース技術の提案募集」及び本回章を外部団体へ知らせるリエゾン文書が完成し、承認されました。

#### (2) Spectrum Aspects & WRC Preparations 関連

- ① WRC-27 議題 1.7 (IMT 周波数追加特定のための共用検討) 等に利用する IMT の技術・運用特性について、4 400-4 800 MHz、7 125-8 400 MHz の IMT パラメータは我が国の寄与文書も反映されましたが、IMT の保護基準に関わる許容干渉確率等の考え方について合意がされ

ず、保護基準と確率の関係を示す3案を併記する形となり、次回会合で継続議論することとなりました。また、14.8-15.35 GHzのIMTパラメータについても、次回会合で引き続き議論する予定です。

- ② WRC-27 議題 1.13（地上系 IMT 端末と衛星との直接通信の検討）について、我が国等の寄与文書が反映され、責任グループである WP 4C へのリエゾン文書が承認されました。本リエゾン文書には、周波数アレンジメントの追加情報の他、衛星と IMT 端末との直接通信を各国の領土外で利用する場合は海上や上空で使用している既存 IMT 端末との共存検討も必要であることや衛星エリアが隣国に及ぶ可能性があること等が記載されています。
- ③ WRC-27 議題 1.13 に関する WP 4C と WP 5D の合同セッションが開催され、我が国の提案をもとに両 WP の役割分担が整理されました。また、双方間の提供情報と提供時期が確認されました。

### (3) Technology Aspects 関連

- ① IMT-2030 の技術性能要求条件に関する新報告について、我が国を含め 13 件の寄与文書があり、作業文書を更新しました。引き続き次回会合で議論が継続される予定です。本報告は、2026 年 2 月会合で完成予定としています。
- ② IMT-2030 無線インタフェースの評価方法を示す新報告の議論が開始されました。目次が合意され、作業文書の作成が開始されました。作業文書は、次回会合で継続作成予定です。また、我が国と韓国、中国との共同寄与文書をもとに作業計画が作成されました。本報告は 2026 年 6 月会合で完成する予定です。
- ③ IMT-2030 無線インタフェースの開発プロセスを記述する文書 (IMT-2030/2) が完成されました。なお、評価テスト環境の情報を追加するため、次回会合以降に文書が改訂される予定です。
- ④ IMT-2020 無線インタフェース技術の不要輻射特性新勧告について、我が国を含めた 6 件の寄与文書が反映され、2 つの新勧告案 (基地局および移動局の不要輻射特性) が完成されました。これらの新勧告案は、SG 5 会合に送付され、採択・承認の手続きが行われる予定です。

### 3 次回会合スケジュール

2025 年 2 月 4 日 (火) ~ 2 月 13 日 (木) にジュネーブ (Web 会議併用) で開催予定です。

#### ARIB 内会合 (10 月 21 日~10 月 25 日) 予定

10 月 21 日 (月)	: デジタル放送システム開発部会 音声符号化方式作業班	Web 会議
10 月 23 日 (水)	: スタジオ設備開発部会 次世代音響スタジオ規格 TG	Web 会議
10 月 23 日 (水)	: 第 334 回技術委員会 (放送)	Web 会議併用
10 月 24 日 (木)	: デジタル放送システム開発部会 地上デジタル放送伝送路符号化作業班	Web 会議併用
10 月 25 日 (金)	: スタジオ設備開発部会 スタジオ音声作業班	Web 会議併用

#### 国際会合 (10 月 21 日~10 月 25 日) 予定

予定している会合はありません。

**無線局（基幹放送局を除く。）の開設の根本的基準等の一部を改正する  
省令案等に係る意見募集**  
**－衛星コンステレーションによる携帯電話向け 2GHz 帯非静止衛星通信  
システムの導入に向けた制度整備－**

【令和 6 年 10 月 11 日発表】

総務省は、衛星コンステレーションによる携帯電話向け 2GHz 帯非静止衛星通信システムの導入に向けた制度整備を行うため、情報通信審議会からの一部答申（衛星コンステレーションによる携帯電話向け 2GHz 帯非静止衛星通信システムの技術的条件）を踏まえ、無線局（基幹放送局を除く。）の開設の根本的基準等の一部を改正する省令案等を作成しました。

当該省令案等について、令和 6 年 10 月 12 日（土）から同年 11 月 11 日（月）までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和 6 年 10 月 11 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**電波法施行規則及び特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則の一部  
を改正する省令案等についての意見募集**  
**－搬送ロボット用ワイヤレス電力伝送システムの導入等のための制度整備－**

【令和 6 年 10 月 15 日発表】

搬送ロボット用ワイヤレス電力伝送システムは、6.7MHz 帯を用いた電界結合方式により電力を伝送するシステムであり、有線で接続することなく、工場や物流拠点で使用される搬送ロボットへの充電や給電を行うものです。昨今の労働人口の減少や物流業界のひっ迫に対し、自動搬送車（AGV）やロボットの活用が不可欠であるため、稼働中の AGV やロボットを停止させず、走行中給電が可能な搬送ロボット用ワイヤレス電力伝送システムの導入が求められています。

総務省はその技術的条件について、情報通信審議会（会長：遠藤 信博 日本電気株式会社 特別顧問）から一部答申を受けました。これを受け、当該システムを導入するために必要な制度整備を行うため、電波法施行規則の一部を改正する省令案等を作成しました。

また、空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムのうち、2.4GHz 帯及び 5.8GHz 帯を使用するものについて、今後の更なる普及を見据え、特定無線設備に追加するため、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則の一部を改正する省令案を作成しました。

当該省令案等について、令和 6 年 10 月 16 日（水）から同年 11 月 14 日（木）までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和 6 年 10 月 15 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<https://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)